

2007年（平成19年）自転車生産・輸出入・出荷状況

1. 生産

自転車生産台数は1,138千台で、前年の1,335千台に対し15%（197千台）の減少となった。また、金額ベースでは252億500万円で、前年の256億1,400万円よりも1.6%（4億900万円）のマイナスとなった。

車種別では、軽快車が720千台で全体の63%を占めて最も多く、次いで電動アシスト車248千台（22%）、ミニサイクル79千台（7%）、特殊車46千台（4%）、子供車・幼児車39千台（3%）と続き、マウンテンバイクは僅か5千台（0.4%）となっている。

平均単価は全車種とも前年を上回っており、全体では22,195円と前年の19,187円よりも3,008円の上昇となった。

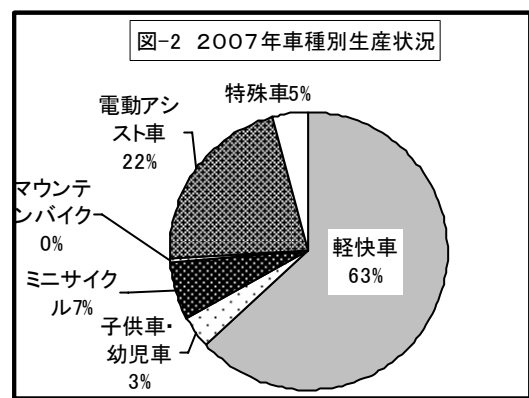
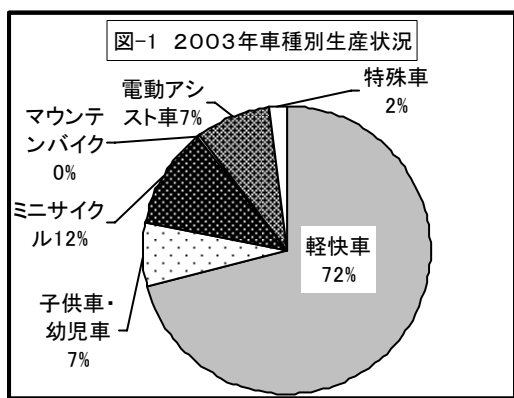
ここ5年間の車種別の生産状況をみると、軽快車や子供車・幼児車等が減産傾向にあるなかで、他の車種よりも高価格の電動アシスト車が増産傾向にあり安定的に推移していることが窺える。

表-1 車種別生産の状況

（単位：数量＝千台、金額＝百万円、平均単価＝円）

車種	2003年			2004年			2005年			2006年			2007年		
	数量	数量	数量	数量	金額	平均単価	数量	金額	平均単価	数量	金額	平均単価	数量	金額	平均単価
軽快車	1,786	1,688	1,325	876	10,747	12,260	720	9,713	13,499						
子供車・幼児車	180	201	107	52	444	8,595	39	372	9,525						
ミニサイクル	286	256	177	83	1,029	12,443	78	977	12,559						
マウンテンバイク	11	18	29	24	219	9,047	5	118	23,600						
電動アシスト車	209	233	224	236	11,486	48,568	248	12,594	50,803						
特殊車	48	59	64	65	1,414	21,887	46	1,429	31,123						
合計	2,520	2,455	1,926	1,335	25,614	19,187	1,135	25,205	22,195						

注1. 統計出所は経済産業省・機械統計



2. 輸出

04年に100万台を突破して以降も増加傾向が続く自転車輸出だが、07年は対前年増加率が56%と大幅に伸び、ついに200万台を越す2,096千台となった。一方、金額ベースでは30億2,821万円と前年の14億6,733万円の2倍強となり、平均単価（FOB：本船渡し価格）

も前年の1,095円から1,445円と32%上昇した。

仕向地別では、カンボジアが454千台と全体の22%を占めて最も多く、次いでベトナム437千台、中国385千台と続いており、アジア向けが1,743千台でアフリカ向けの356千台と合わせると全輸出の99.9%に及んでいる。輸出単価と仕向地からも分かるように、自転車輸出の殆どは日本で消費され使用された中古車である。

前年と比べて大幅に増加しているのは、中国(24.6倍)、北朝鮮(9.8倍)、ベトナム(5.8倍)及びタンザニア(1.9倍)向けであり、対照的にこれまで主要仕向地であった香港が前年の255千台から4千台へと激減している。

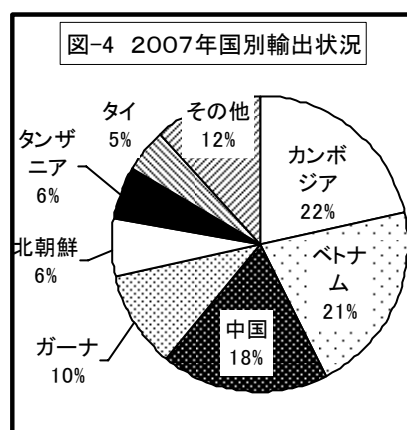
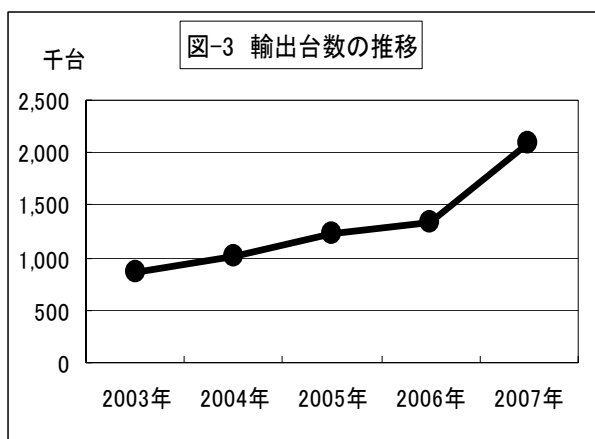
表-2 仕向地別輸出状況

(単位:数量=千台、金額=百万円、平均単価=円)

国名	2003年	2004年	2005年	2006年			2007年		
	数量	数量	数量	数量	金額	平均単価	数量	金額	平均単価
カンボジア	314	371	498	441	464	1,052	454	587	1,293
ベトナム	-	1	0	75	84	1,118	437	592	1,356
中国	2	4	2	16	23	1,447	385	608	1,576
ガーナ	74	135	135	218	176	807	219	260	1,189
北朝鮮	53	54	17	14	17	1,177	135	229	1,699
タンザニア	9	14	25	64	74	1,146	123	199	1,613
タイ	11	34	39	51	64	1,250	99	140	1,417
その他	402	396	505	461	640	1,219	244	413	1,693
合計	865	1,009	1,221	1,340	1,467	1,095	2,096	3,028	1,445

注1. 表中の「0」は500未満を、「-」はゼロを意味する

注2. 統計出所は財務省貿易統計



3. 輸入

一方、輸入状況を見ると、数量ベースでは9,603千台で対前年比3%(264千台)増、金額ベースでは748億7,500万円で同14%(91億700万円)増となって、相変わらず増加傾向が続いている。

仕入国は中国が圧倒的に多く全輸入の96%を占め、第2位の台湾は僅か3%にとどまっております、両国以外の国は全て合計しても1%に満たない。

輸入車の平均単価(CIF:運賃保険料込み価格)は7,797円で、前年よりも755円のアップとなっているが、これは中国における金属材料の高騰や人件費のアップ及び為替レート(元高)の影響で中国車の製造価格が上昇していることが最大の要因だが、最近の国内市場にお

けるスポーツ車の需要増を反映して、台湾や欧米からの高価格車の輸入が増加していることも一因とみられる。

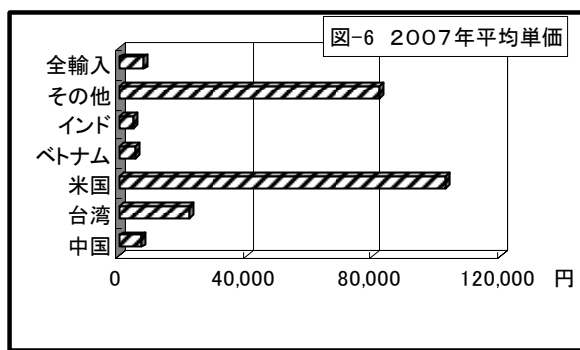
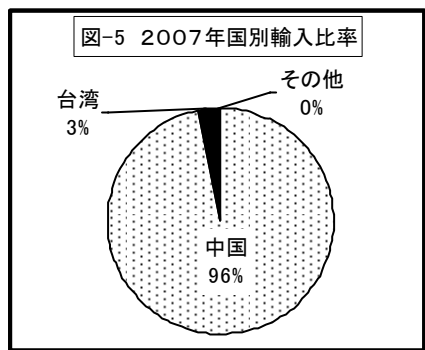
表-3 仕入国別輸入状況

(単位:数量=千台、金額=百万円、平均単価=円)

国名	2003年	2004年	2005年	2006年			2007年		
	数量	数量	数量	数量	金額	平均単価	数量	金額	平均単価
中国	8,050	8,604	8,813	8,948	58,612	6,551	9,276	66,332	7,151
台湾	595	510	308	361	5,490	15,222	300	6,626	22,060
米国	10	9	10	10	999	95,587	10	980	102,727
ベトナム	4	3	1	3	17	5,505	3	17	5,043
インド	0	5	1	8	36	4,560	3	13	4,816
その他	44	7	11	9	614	68,222	11	907	82,059
合計	8,703	9,138	9,144	9,339	65,768	7,042	9,603	74,875	7,797

注1. 電動アシスト車は含まない

注2. 統計出所は財務省・貿易統計



車種別では、軽快車が4,482千台と全輸入の約半分(48%)を占めて最も多く、最近5年間の輸入動向をみても増加傾向に衰えはみられない。軽快車に次いで多いのが3,355千台の子供車・幼児車で、この車種も06年までは軽快車と同様に漸増傾向にあったが、07年は前年を僅かに下回っている。

軽快車及び子供車・幼児車以外では、ミニサイクルが214千台と対前年比19%減、対03年比では46%減となったほか、07年に289千台の輸入があったマウンテンバイクも対前年比23%減、対03年比では69%減と大幅に減少している。

対照的に増加傾向にあるのがスポーツ車、BMX及び一輪車等を含む「その他」で、07年は1,263千台と前年を17%上回っており、対03年比では46%増となっている。増加の要因は、国内市場におけるスポーツバイク需要の拡大により、欧米の人気ブランドのOEM生産基地となっている台湾のほか、著名ブランドを有する米国、イタリア、フランスからの輸入が増加したためである。

電動アシスト車の輸入(*1)は引き続き減少傾向にあり、07年は77千台と対前年比15%減、対03年ではマイナス73%と激減している。これは、最大の仕入国(07年の輸入占有率99%)である中国からの輸入減によるもので、道交法上自転車として扱われないフル電動タイプなどが、規制強化によって淘汰されたためと推測される。

(*1)現行の輸入統計品目表には電動アシスト車だけを区分したものはなく、このタイプはモーターサイクル及び補助原動機付き自転車等のひとつに分類されている。該当するHS関税番号は8711.90-000で、これには電動アシスト車のほかに二輪車用サイドカーが一部含まれるが、本稿では電動アシスト車とする。

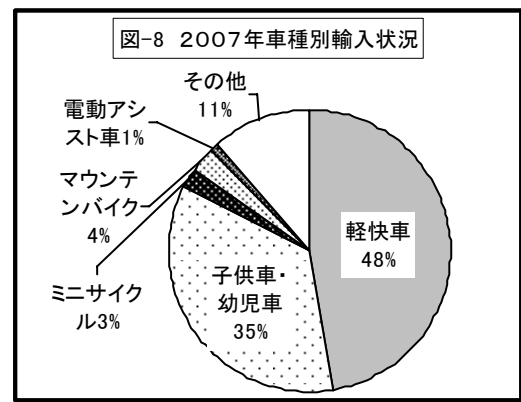
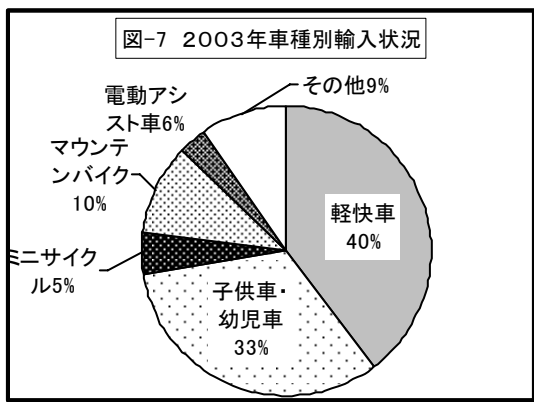
表-4 車種別輸入状況

(単位:数量=千台、金額=百万円、平均単価=円)

車種	2003年	2004年	2005年	2006年			2007年		
	数量	数量	数量	数量	金額	平均単価	数量	金額	平均単価
軽快車	3,572	3,675	4,000	4,248	28,069	6,608	4,482	32,290	7,205
子供車・幼児車	2,939	3,125	3,198	3,370	19,000	5,638	3,355	21,182	6,314
ミニサイクル	398	477	278	263	1,908	7,245	214	1,929	9,018
マウンテンバイク	930	904	576	376	5,783	15,364	289	4,674	16,159
その他	864	957	1,092	1,082	11,007	10,177	1,263	14,799	11,715
計	8,703	9,138	9,144	9,339	65,768	7,042	9,603	74,875	7,797
電動アシスト車	290	130	99	91	1,694	18,569	77	1,897	24,588
合計	8,993	9,268	9,243	9,430	67,462	71,537	9,680	76,772	7,931

注1. 電動アシスト車はHS関税番号8711.90-000の数値を使用。

注2. 統計出所は財務省・貿易統計



4. 出荷

出荷台数(*2)は、電動アシスト車を除くと10,493千台でほぼ前年並(0.5%増)となり、99年以降04年まで右肩上がりに推移してきたが、最近3年間は1,000万~1,100万台の間に落ち着いている。

電動アシスト車を含めると、07年の総出荷台数は前年の10,766千台をやや上回る10,816千台となった。なお、前述のとおり、輸入電動アシスト車にはサイドカーや正規のアシストタイプ以外のものが含まれている可能性があるため、注意が必要である。

車種別比率をみると、軽快車が48%と最も多く、次いで子供車・幼児車が31%であり、これら2車種で全体の8割を占めている。それ以外の車種は、スポーツ車、BMX及び一輪車等が区分されている「その他」の12%を除き、いずれも3%にとどまっている。

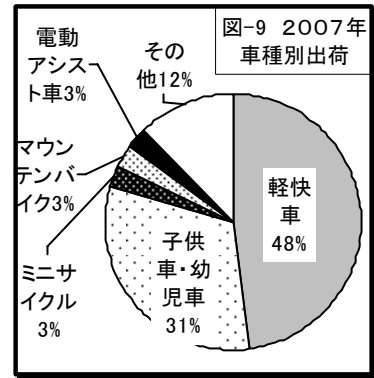
(*2) 出荷統計が整備されていないため、本稿では生産と輸入の数量を合計した数値をもって出荷台数としている。なお、一般的に国産には輸出分が含まれるが、「2. 輸出」で述べたように我が国の自転車輸出の殆どが中古車であるため、出荷台数の算出に当たって輸出数量は無視している。

表-5 車種別出荷状況

(単位=千台)

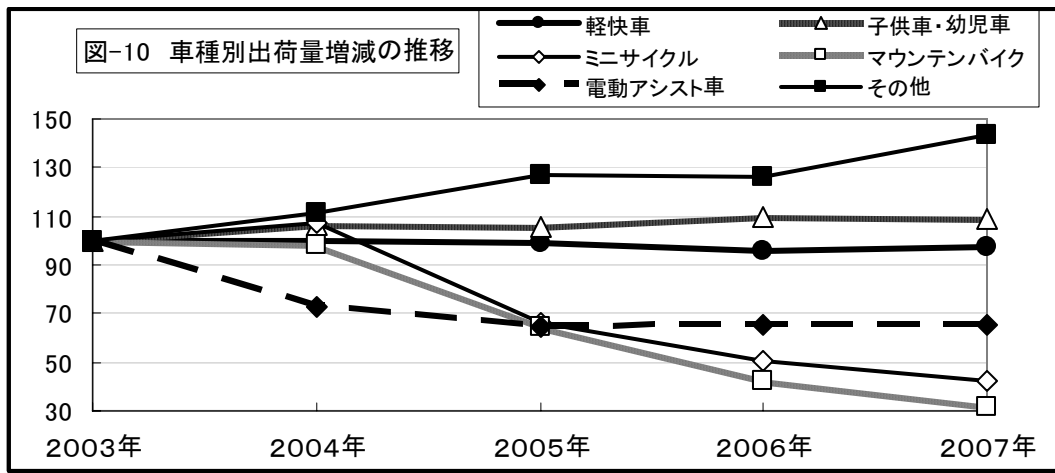
車種	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
軽快車	5,358	5,363	5,325	5,124	5,201
子供車・幼児車	3,119	3,326	3,305	3,422	3,394
ミニサイクル	684	733	455	346	292
マウンテンバイク	941	922	605	400	295
その他	912	1,016	1,156	1,147	1,309
計	11,014	11,360	10,846	10,439	10,491
電動アシスト車	499	363	323	327	325
合計	11,513	11,723	11,169	10,766	10,816

注1. 統計出所は経済産業省・機械統計及び財務省・貿易統計



03年の出荷台数を100として、それ以降の車種別出荷の増減をグラフ化すると図-10のようになり、軽快車がほぼ横這い(07年の数値は97)で子供車・幼児車が微増(同109)している。それ以外の車種は、「その他」を除いていずれも減少傾向にあり、これが出荷量全体を押し下げた原因とみられる。

軽快車と子供車・幼児車の出荷量は安定しているが、国産：輸入比率を03年と07年で比較すると、軽快車が33：67→14：86、子供車・幼児車が6：94→1：99で、輸入車が圧倒的シェアを占めるようになり、輸入価格が若干増加しているとはいえ、低価格化が一層進んでいることが窺える。



以上